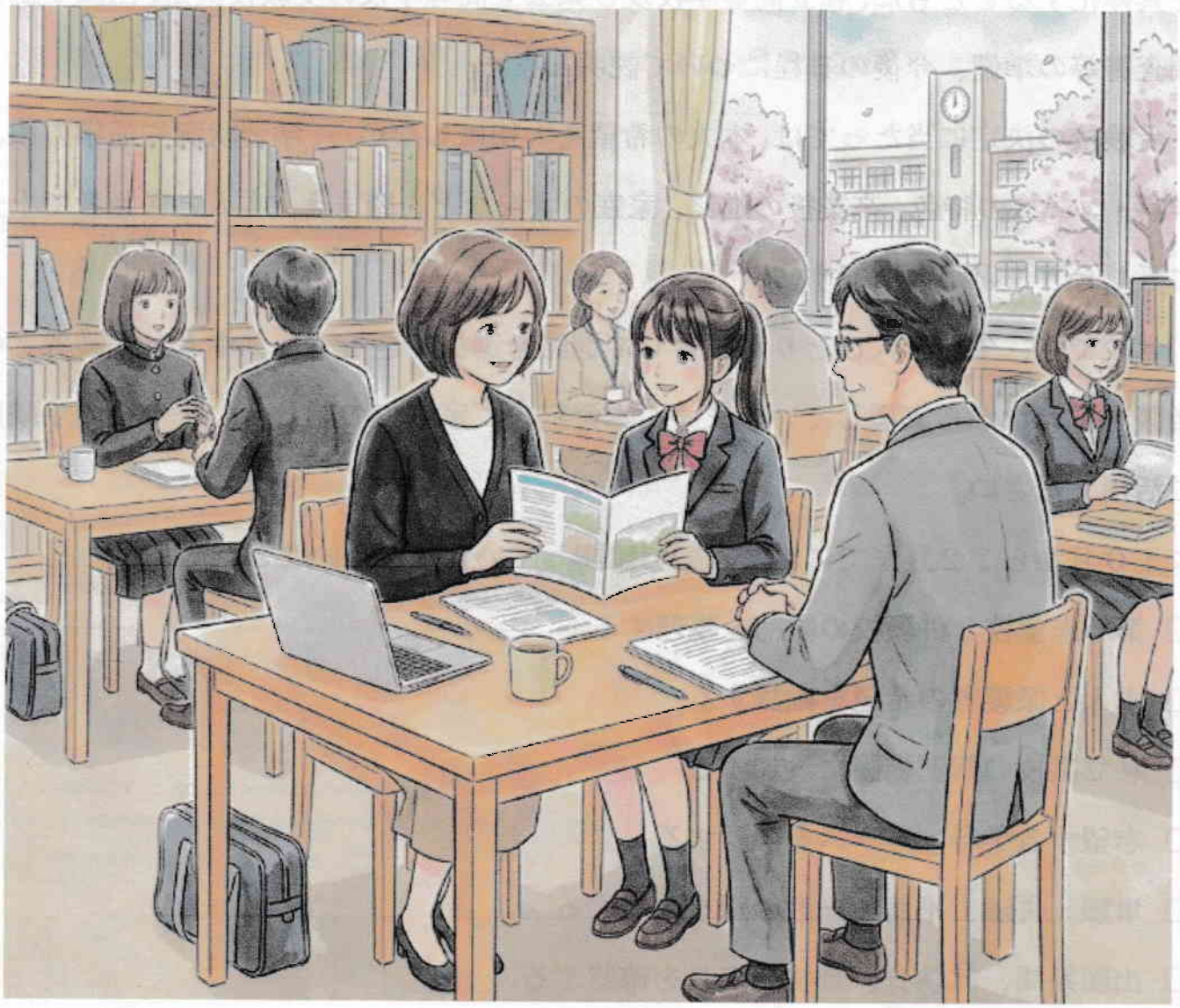
第２回
進路保護者会資料



令和　８年　１０月　１６日（金）

さいたま市立城北中学校　第３学年

【保護者の皆様へ】

第１回進路保護者会では、進路選択の基本的な考え方や高等学校の入試制度、今後の進路選択に向けた準備について説明しました。

今回の第２回進路保護者会では、１１月・１２月の三者面談に向けて、進路希望を具体化するとともに、私立高等学校及び県公立高等学校の受験校決定、出願手続、調査書等の準備、今後の日程について説明します。

受験校の決定に当たっては、本人の希望を大切にしながら、学習状況や通学方法、学科・コースの特色、卒業後の進路、家庭の状況などを踏まえ、本人と保護者で十分に話し合うことが大切です。

学校でも、生徒一人ひとりが納得して進路を選択できるよう、本人・保護者との相談を重ねながら支援していきます。本資料をご家庭での話し合いや今後の手続にご活用ください。

＜１０月から１２月までに、ご家庭で確認していただきたいこと＞

□ 第一志望校と併願校の候補を整理する

□ 本人と保護者の希望を確認する

□ 私立高校の個別相談に参加する

□ 志望する学科・コースを確認する

□ 単願・併願、推薦・一般の別を確認する

□ 出願期間、試験日、合格発表日を確認する

□ 延納制度と入学手続期限を確認する

□ 募集要項を入手し、必要書類を確認する

□ Web 出願に必要なメールアドレス等を準備する

□ 受験用写真または写真データを準備する

□ １２月三者面談までに私立受験校を決定する

Ⅰ　私立高等学校の受験手続

◎ 国立・私立高校・専門学校　調査書交付願の記入方法　　提出日　１２月三者面談時　期日厳守

（1）国立・私立高校等で受験する高校名と学科・コース等を記入してください。
　※ 正式な名称で記入してください。

（2）受験方法（学校推薦・自己推薦・保護者推薦・一般受験）を一つ選択してください。
　※ 学校推薦は、高校側から示されている決められた基準を満たしており、校長の承認を受けた生徒のみ受験できます。

（3）単願・併願のどちらかを選択してください。
　※ 単願・第一志望で受験する場合は、合格後にその学校へ入学することが前提となります。
　本人と保護者で十分に話し合ったうえで決定してください。

（4）出願期間を記入してください。
　※ 余裕を持って出願できるように計画を立ててください。

（5）受験日を記入してください。複数ある場合も全て記入してください。
　※ 同じ高校の試験が２日間、３日間連続で行われたり、間が空いて試験がある場合など、様々なケースがありますので、相談会等でよく確認をしておいてください。

（6）合格発表日を記入してください。

（7）延納制度の有無を記入してください。
　※ 延納手続が必要な学校もありますので必ず確認をしてください。
　それらの手続をしないと合格が無効になる場合がありますので注意をしてください。

（8）調査書受取希望日を記入してください。
　※ 原則として、３学期始業式の１月７日（木）以降になります。
　ただし、それより前に必要な場合は、事前に担任に連絡してください。

国立・私立高校・専門学校　調査書等交付願

令和　　年　　月　　日

さいたま市立城北中学校長
　齊藤　耕太郎 様

下記の受験校について、調査書及び必要書類の交付をお願いします。　　3年　　組　　番・生徒氏名　　(自署)

なお、中学校長推薦を受ける場合はその進路先での学業・諸活動に十分努力することを誓います。　　保護者名　　(自署)

	学校名(学科またはコース)	受験方法	単願 併願	出願期間 （出願方法）	受験日	合格発表日 （確認手段）	延納制度 （有・無）	調査書受取 希望日	その他の書類
1	（　　）	中学校推薦 自己推薦 保護者推薦 一般受験	単願 併願	月　日～　月　日 （郵送・窓口・web） 月　日～　月　日 （郵送・窓口・web）	月　日	月　日 （郵送・掲示・窓口 ・インターネット）	延納 （有・無） 期限 月　日	月　日	・推薦書 ・ ・
2	（　　）	中学校推薦 自己推薦 保護者推薦 一般受験	単願 併願	月　日～　月　日 （郵送・窓口・web） 月　日～　月　日 （郵送・窓口・web）	月　日	月　日 （郵送・掲示・窓口 ・インターネット）	延納 （有・無） 期限 月　日	月　日	・推薦書 ・ ・
3	（　　）	中学校推薦 自己推薦 保護者推薦 一般受験	単願 併願	月　日～　月　日 （郵送・窓口・web） 月　日～　月　日 （郵送・窓口・web）	月　日	月　日 （郵送・掲示・窓口 ・インターネット）	延納 （有・無） 期限 月　日	月　日	・推薦書 ・ ・
4	（　　）	中学校推薦 自己推薦 保護者推薦 一般受験	単願 併願	月　日～　月　日 （郵送・窓口・web） 月　日～　月　日 （郵送・窓口・web）	月　日	月　日 （郵送・掲示・窓口 ・インターネット）	延納 （有・無） 期限 月　日	月　日	・推薦書 ・ ・

※ 該当するものを○で囲むか、必要事項を記入してください。
※「その他の書類」は推薦書が必要な場合は○で囲み、中学校で作成して欲しい書類が必要な場合は記入してください。

◎ 調査書受け取りまでの流れについて

〔１２月三者面談時に〕

◎ 私立高等学校等の受験者全員

・角型２号の封筒を準備
　受験校数分準備
・調査書作成願の記入
　受験校数分記入
・募集要項の必要箇所のコピー
　受験校ごとに１部準備

○ 対象者のみ

・学校推薦書
・高校指定様式の調査書等
・その他

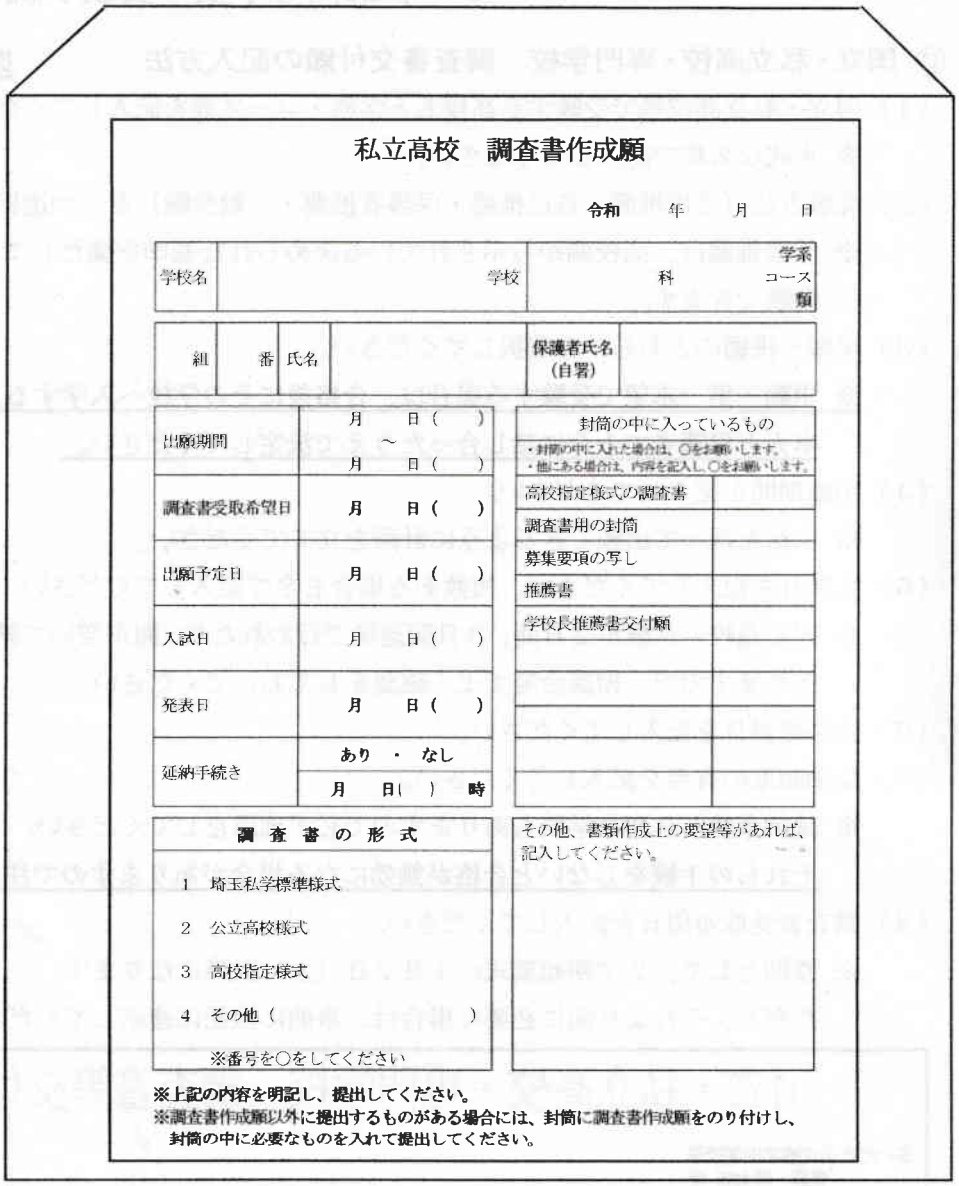
〔１２月の三者面談内容〕

・受験校
・受験方法
・出願に関わる準備等
・調査書
・受取希望日　　等

※ 担任・生徒・保護者で確認を行います。

〔３学期始業式以降〕

・封筒を受け取ります。



私立高校　調査書作成願

令和　　年　　月　　日

学校名	学校	学系 科　コース 類

組	番	氏名		保護者氏名 (自署)	

出願期間	月　日(　) ～ 月　日(　)
調査書受取希望日	月　日(　)
出願予定日	月　日(　)
入試日	月　日(　)
発表日	月　日(　)
延納手続き	あり　・　なし 月　日(　)　時

封筒の中に入っているもの ・封筒の中に入れた場合は、○をお願いします。 ・他にある場合は、内容を記入し、○をお願いします。	
高校指定様式の調査書	
調査書用の封筒	
募集要項の写し	
推薦書	
学校長推薦書交付願	

調査書の形式
1　埼玉私学標準様式
2　公立高校様式
3　高校指定様式
4　その他（　　）
※番号を○をしてください

その他、書類作成上の要望等があれば、記入してください。

※上記の内容を明記し、提出してください。
※調査書作成願以外に提出するものがある場合には、封筒に調査書作成願をのり付けし、封筒の中に必要なものを入れて提出してください。



受験校１校につき封筒１セット作成し、その中に募集要項のコピーなどの必要書類を入れて、三者面談時までに、担任に渡してください。

※ ３校受験する場合は封筒３セットの準備が必要です。多くの目でよく確認していきましょう。

◎　国・私立高校準備と留意事項の一覧

予　定	内　容	留　　意　　点
１１月 三者面談	進路希望及び調査書記載内容の確認	・現時点での第一志望校、希望する学科・コース、私立高等学校の単願・併願及び個別相談の状況等を確認します。 ・氏名、生年月日、各学年の評定・出欠、資格・検定、表彰等の記載内容を確認します。資格・検定や表彰等を証明する書類がある場合は、証明書等のコピーをご用意ください。 ・今後の進路選択について情報提供や助言を行います。資料や過年度の状況はあくまで目安であり、合格を保証するものではありません。 ・個別相談を受けた場合は、その内容や結果を担任へお知らせください。 ・１２月の三者面談では、調査書記載内容の最終確認及び私立高等学校の受験校・受験方法等の決定を行います。
１２月 三者面談	受験校の確認 調査書等の確認 私立高校受験に関わる確認 学校推薦の決定 ※該当者のみ	・「私立高校調査書等交付願・調査書作成願」は三者面談前に配布します。１２月の三者面談時までに担任に提出してください。決まっていない事項に関しては、事前に担任と相談のうえ、１２月の三者面談で方向性の確認等を行うようにしてください。 ・**「私立高校調査書等交付願」「調査書作成願」を基に正式に必要書類を作成しますので、期日を守って提出してください。また、受験校のコース・学科等を含め、変更がある場合には、速やかに担任に報告してください。** ・調査書等の一部も口頭で伝えます。（必要に応じて）
１２月 前半まで	**出願に向けた準備**	・各自で志望校の募集要項をよく読み、出願方法や出願期間、必要書類等を確認してください。私立高等学校等では、Web 出願が主流となっていますが、学校によって手続方法が異なります。 ・Web 出願では、出願サイトへの登録、顔写真データのアップロード、受験料の支払い、受験票等の印刷が必要になる場合があります。必要な機器や環境も含め、早めに準備を進めてください。 ・受験料の支払方法と支払期限を確認してください。支払方法には、クレジットカード決済、コンビニエンスストアでの支払い、金融機関での振込等があります。同じ学校でも、単願・併願の別や受験するコースによって、手続方法が異なる場合があります。 ・出願時に使用する顔写真を準備してください。写真データの登録が必要な学校もありますので、写真のサイズ、形式、撮影時期、服装等について、募集要項をよく確認してください。 ・志望理由や自己 PR 等の入力・記入が必要な場合は、事前に内容を考え、下書きを準備しておいてください。 ・中学校から提出する調査書等のほかに、受験生や保護者が準備する書類がないか確認してください。
１２月２４日（木） 終業式	「学習の記録等通知書」の配付 受領書の提出	・終業式の日に、通知票と併せて「学習の記録等通知書」を配付します。**この通知書は、保護者宛ての「親展」文書です。必ず保護者の方が開封し、記載内容をご確認ください。確認後、同封されている「受領書」に必要事項を記入し、次の時間内に学校へ提出してください。** **受領書提出日時** **１２月２４日（木）１４時から１６時まで** **１２月２５日（金）　９時から１０時まで** **・受領書の提出をもって記載内容の確認が完了したものとし、確認後に調査書の作成を進めます。** ・**「学習の記録等通知書」の記載内容について確認したいことや訂正が必要**と思われる箇所がある場合は、**１２月２５日（金）１０時まで**に、速やかに担任へご連絡ください。 ・「学習の記録等通知書」は、受験校へ提出する調査書ではありません。ご家庭で保管し、出願書類として受験校へ提出しないようご注意ください。

予　定	内　容	留　　意　　点
冬休み	出願手続き・ 必要書類の準備	・募集要項を再度確認し、定められた期間内に出願手続きを行ってください。 ・Web 出願の場合は、氏名、生年月日、住所、志望するコース、単願・併願の別など、入力内容に誤りがないか、必ず受験生と保護者で確認してください。 ・受験料の支払い後は、受験票や出願票等を印刷し、必要な箇所への写真の貼付や署名等を行ってください。 ・郵送または高等学校等への持参が必要な書類がある場合は、提出方法と提出期限を確認し、余裕をもって準備してください。 ・紙の願書や手書きの書類が必要な場合は、募集要項の記入例に従い、黒のボールペンで丁寧に記入してください。書き損じた場合の訂正方法についても、募集要項を確認してください。 ・出願手続き完了後は、受験番号、試験日時、集合時刻、会場、持ち物、合格発表方法、入学手続期間等を確認してください。
1月7日 (木) 始業式 以降	調査書・ 推薦書等の配付	・調査書や推薦書等は、中学校長から志願先の学校長へ提出する「親展」文書です。配付された封筒は、折ったり、開封したりしないでください。 ・調査書等の封筒を開封した場合、受験校に受理されない可能性があります。配付後は紛失・破損しないよう、十分に注意して保管してください。 ・1月7日（木）より前に調査書等が必要となる場合は、12月の三者面談までに、出願日、提出期限、必要書類等を担任へお知らせください。 ・私立高等学校の調査書については、学校によって指定様式や提出方法が異なる場合があります。必ず志望校の最新の募集要項を確認してください。埼玉県私立中学高等学校協会も、標準様式と異なる学校があるため、各校の募集要項を確認し、学校指定様式を使用するよう案内しています。
出願	出願手続き 受験番号の報告	・志望校の募集要項を改めて確認し、出願期間、出願方法、必要書類、受験料の支払方法等に誤りがないよう、受験生と保護者で確認のうえ、手続きを行ってください。 ・Web 出願の場合は、入力内容を確定する前に、氏名、生年月日、学校名、学科・コース、単願・併願の別、試験日等に誤りがないか、必ず確認してください。 ・出願手続き完了後、受験票を各家庭で印刷する場合があります。受験票の発行方法や印刷開始日については、志望校の募集要項や出願サイトをご確認ください。 ・受験番号が発行されたら、学校で配付する「出願確認用紙」に、志望校名、学科・コース、試験日、受験番号等を記入し、担任へ提出してください。 ・受験番号は、受験状況の確認や、高等学校への問い合わせが必要となった場合に使用します。受験票を紛失しないよう大切に保管するとともに、受験番号を正確に学校へ報告してください。 ・中学校長宛ての受領書や出願確認書類が発行された場合は、受験番号等の記載を確認のうえ、担任へ提出してください。 ・出願に使用したメールアドレス、ID、パスワード等は、受験票の印刷、合格発表、入学手続き等で使用する場合があります。手続きがすべて完了するまで、大切に保管してください。

◎　私立高等学校を受験する際の注意事項

私立高等学校では、学校・学科・コースや受験区分によって、出願方法、提出書類、試験日、入学手続等が異なります。同じ高等学校でも、受験区分や試験日によって手続が異なる場合があります。各高等学校の募集要項をよく読み、本人と保護者で十分に確認したうえで、余裕をもって手続を進めてください。

A　出願前に確認すること

1　出願区分

私立高等学校には、単願・併願、推薦・一般受験等、さまざまな出願区分があります。また、推薦入試についても、学校推薦、自己推薦、保護者推薦など、高等学校によって名称や条件が異なります。

同じ高等学校でも、学科・コース、受験区分、試験日によって、出願方法や必要書類が異なる場合があります。出願前に、次の内容を必ず確認してください。

・志望する学校、学科・コース　・単願・併願の別　・推薦・一般の別　・学校推薦・自己推薦等の別
・受験日　・出願期間　・必要な提出書類

受験区分を誤って入力すると、希望する条件で受験できなくなる場合があります。出願する学校、学科・コース、受験区分等について、本人と保護者で確認してください。

2　推薦条件

推薦入試では、高等学校が定める推薦基準や出願資格を満たす必要があります。推薦基準には、学習成績、出欠状況、学校生活、部活動、資格取得等が含まれる場合があります。また、推薦基準を満たしていても、それだけで合格が決まるわけではありません。学力試験、面接、作文、書類審査等が行われる場合があります。

推薦入試を希望する場合は、次の内容を確認してください。

・高等学校が定める推薦基準　・学力試験の有無と試験科目　・面接、作文、書類審査等の有無
・中学校長の推薦が必要か　・中学校内での審査が必要か　・推薦書等の提出書類　・合格した場合の入学条件

推薦条件や選抜方法は、高等学校によって異なります。募集要項や個別相談等で確認してください。

3　併願条件

私立高等学校の併願制度には、県公立高等学校等との併願に限る場合と、他の私立高等学校との併願も認める場合があります。

複数の私立高等学校を受験する場合は、次の内容を確認してください。

・県公立高等学校等との併願に限られているか　・他の私立高等学校とも併願できるか
・併願できる学校や受験区分に制限があるか　・単願・第一志望と併願の違い　・入学手続期限や延納制度
・それぞれの入試日程が重なっていないか

複数の私立高等学校を受験する場合は、それぞれの学校の併願条件に反していないかを確認してください。不明な点がある場合は、出願前に高等学校へ確認するとともに、担任へ相談してください。

4　試験日・試験内容

同じ高等学校でも、受験区分や試験日によって、試験科目や選抜方法が異なる場合があります。

出願前に、次の内容を確認してください。

・試験日　・集合時刻　・試験会場　・試験科目　・面接、作文、実技検査等の有無　・持ち物
・合格発表日及び発表方法　・追試験や再受験制度の有無

過去の入試結果、合格最低点、合格者平均点等を公表している高等学校もあります。また、学校説明会や個別相談において、過去問題への取り組み方や学習の目安を確認できる場合があります。ただし、問題の難易度や合格の目安は年度によって異なります。過去の得点だけで合否を判断せず、基礎学力の定着と得点力の向上に努めてください。

B　出願時の注意

1　Web 出願

多くの私立高等学校では、Web 出願が導入されています。Web 出願では、志願者情報や受験区分等の入力、顔写真データの登録、受験料の支払い等を行います。

出願する際は、次の内容を確認してください。

・Web 出願の入力期間　・氏名、生年月日、住所等の志願者情報　・学校名、学科・コース
・単願・併願、推薦・一般等の受験区分　・試験日　・顔写真または顔写真データ　・受験料の支払状況
・願書や受験票等の印刷　・出願書類の提出　・出願完了の表示や通知

Web 上で必要事項を入力しただけでは、出願が完了しない場合があります。Web 入力、顔写真の登録、受験料の支払い、出願書類の提出等、学校が指定するすべての手続を終えていることを必ず確認してください。登録したメールアドレス、ログイン ID、パスワード等は、合格発表や入学手続で使用する場合があります。手続がすべて完了するまで、忘れたり紛失したりしないように保管してください。

2　必要書類

受験校や受験区分によって、必要となる書類が異なります。次のような書類が必要となる場合があります。

・入学願書　・調査書　・推薦書　・志望理由書　・活動実績等を証明する書類
・資格・検定等の証明書　・高等学校が指定する独自の書類

また、書類の提出方法には、郵送、窓口への持参、Web 上での提出等があります。必要書類、提出方法、提出期限を募集要項で確認してください。郵送の場合は、消印有効か必着かについても確認し、余裕をもって発送してください。

3　調査書等の取扱い

中学校から受け取った調査書等の厳封された書類は、開封せず、そのまま受験校へ提出してください。開封した場合、書類が無効となり、再発行が必要になることがあります。

調査書を受け取った後に、受験を取りやめた場合や受験校を変更した場合は、速やかに担任へ連絡してください。使用しなかった調査書等は、開封せずに担任へ返却してください。また、調査書や推薦書等の作成には時間を要します。学校が定める作成依頼の期限を守って手続きをしてください。

4　受験料

受験料の金額、支払期間、支払方法は、高等学校によって異なります。クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関等で支払う場合があります。

受験料を支払う際は、次の内容を確認してください。

・受験料の金額　・支払期間　・支払方法　・決済手数料　・支払完了の表示や通知
・支払い後の受験区分等の変更　・受験を取りやめた場合の返金の有無

受験料を支払った後は、志望する学校、学科・コース、受験区分等を変更できない場合があります。また、受験を取りやめても、受験料や決済手数料が返金されない場合があります。必ず入力内容を確認してから支払いを行ってください。受験料の支払完了後は、支払完了画面や確認メール等を保存してください。

5　授業との調整

出願、合格発表、入学手続等については、学校の授業を優先し、原則として保護者の方に手続を行っていただくようお願いします。私立高等学校の出願、併願校の合格発表、入学手続等を理由とした遅刻、欠席、早退は、原則として避けてください。ただし、受験校から本人の来校を求められている場合や、家庭の事情等により保護者による手続が難しい場合は、事前に担任へ相談してください。

第１志望校の合格発表や入学手続等についても、本人の来校が必要かを確認し、授業を遅刻、欠席、早退する必要がある場合は、早めに担任へ相談してください。

C　合格後の注意

1　入学手続期限

合格後は、入学手続の方法と期限を必ず確認してください。合格発表日から入学手続期限までの期間が短い学校もあります。

合格後は、次の内容を確認してください。

・合格発表日及び発表方法　・入学手続期限　・入学手続の方法　・納入が必要な金額　・提出が必要な書類
・本人の来校が必要か　・延納手続の要否　・期限を過ぎた場合の取扱い

期限までに必要な手続を行わなかった場合は、入学資格を失うことがあります。合格発表を確認したら、直ちに入学手続の内容と期限を確認してください。

2　延納制度

県公立高等学校等の入学許可候補者発表まで、私立高等学校の入学手続の全部または一部を待ってもらう制度を「延納制度」といいます。延納制度の内容は、高等学校によって異なります。

・特別な手続をしなくても県公立高等学校等の発表まで待つことができる　・所定の延納手続が必要である
・延納申込金や入学金等の一部を納入する必要がある　・延納制度を利用できる受験区分が決められている
・延納制度を設けていない

延納手続が必要な学校では、期限までに手続を行わなかった場合、合格による入学資格を失うことがあります。延納制度を利用する場合は、次の内容を必ず確認してください。

・延納制度を利用できるか　・延納手続が必要か　・延納手続の期限　・延納のために納入する金額
・県公立高等学校等の発表後の手続期限　・最終的な入学手続の方法

3　納入金の取扱い

延納制度がない学校では、県公立高等学校等の結果を待たずに、入学手続や入学金等の納入を行う必要があります。入学手続を行った後に入学を辞退した場合、納入した入学金等が返還されないことがあります。また、施設費等については、学校や費目によって取扱いが異なります。

受験校を決定する際は、次の内容を確認してください。

・入学金　・施設費等　・延納時に支払う金額　・入学手続時に支払う金額
・入学を辞退した場合の返還の有無　・納入金の返還を申し出る期限と方法

延納制度の有無だけでなく、入学手続期限、納入金額、入学を辞退した場合の納入金の取扱いについても、募集要項で確認してください。

D　推薦入試の注意

1　推薦は合格を保証する制度ではありません

推薦入試は、推薦基準を満たしていることや、個別相談等で受験についての説明を受けたことにより、合格が正式に保証される制度ではありません。

推薦基準を満たしていても、学力試験、面接、作文、書類審査等の結果によっては、不合格となる場合があります。最終的な合否は、各高等学校が募集要項に定めた選抜方法に基づいて判定します。

また、推薦入試では、内申点等を出願資格として扱う学校、学力試験の得点に加点する学校、調査書や面接等を含めて総合的に判定する学校など、選抜方法が異なります。推薦入試であっても、当日の学力試験や面接等に向けて、十分に準備してください。

2　単願は入学することが前提です

単願・第一志望等の受験区分は、合格した場合にその学校へ入学することを前提とする制度です。

単願・第一志望で受験する場合は、本人と保護者で十分に話し合い、入学する意思を確認したうえで出願してください。同時期に複数の学校へ単願・第一志望として出願することはできません。

また、県公立高等学校の受検を予定している場合は、単願・第一志望の条件と矛盾しないかを必ず確認してください。不合格後に別の学校へ出願できるかどうかは、次の学校の出願期間や出願条件によって異なります。単願・第一志望での受験を検討する場合は、受験日や合格発表日、その後の出願日程についても確認してください。

3　指定校推薦には校内審査があります

私立高等学校から中学校に対して、指定校推薦の案内が届く場合があります。指定校推薦は、高等学校が定める推薦条件を満たし、中学校長の推薦を受けて出願する制度です。

指定校推薦を希望する場合は、本人の進学意思、学習状況、出欠状況、学校生活の様子、高等学校が定める推薦条件等を踏まえ、校内で推薦の可否を検討します。

そのため、指定校推薦は、希望すれば必ず推薦される制度ではありません。高等学校から推薦可能な人数が定められている場合は、推薦条件を満たしていても、希望者全員を推薦できないことがあります。

指定校推薦は、原則として、その高等学校を第一志望とし、合格した場合に必ず入学する意思があることが条件となります。推薦を希望する場合は、本人と保護者で十分に話し合い、学校、学科・コース、出願条件等を確認してください。また、中学校から推薦を受けたことにより、合格が保証されるわけではありません。出願後は、高等学校が定める学力試験、面接、作文、書類審査等によって合否が判定されます。

指定校推薦を希望する場合は、校内の申出期限までに担任へ相談してください。推薦決定後は、中学校の代表として推薦されることを自覚し、学習や学校生活に責任をもって取り組んでください。

現在、城北中学校で推薦枠がある高校一覧

・佐野日本大学高等学校（２名）　・國學院大学栃木高等学校（２名）　・昌平高等学校（１名）

※令和８年１０月現在の情報です。推薦条件、対象学科・コース、推薦人数等は学校ごとに異なります。

また、希望しても必ず推薦されるものではありません。

ご家庭へのお願い

私立高等学校の出願方法、提出書類、試験内容、入学手続等は、学校や受験区分によって異なります。必ず受験する高等学校の最新の募集要項を確認してください。

特に、次の事項は、本人と保護者で複数回確認してください。

・学校、学科・コース　・単願・併願、推薦・一般等の受験区分　・出願期間と出願方法

・試験日と合格発表日　・必要書類と提出方法　・受験料の支払方法　・入学手続期限　・延納制度の有無

・納入金の取扱い

個別相談で新たな説明を受けた場合、受験校や受験区分を変更する場合、出願手続で不明な点が生じた場合は、早めに担任へお知らせください。

Ⅱ　県公立高等学校の受検手続

◎　電子出願の流れ

令和９年度県公立高等学校入学者選抜では、電子出願システムを利用して出願します。

電子出願は、インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット端末等を使用して、自宅等から志願情報を入力する手続です。受検票は、各家庭で印刷して学力検査当日に持参する必要があります。自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストア等のプリントサービスを利用することができます。

＜基本的な出願の流れ＞

県教育委員会から現時点で示されている出願手続は、次の３段階です。

①　志願者・保護者が志願情報を入力する

電子出願システムの案内に従って、志願者情報や志願先等を入力します。

入力する内容や入力方法の詳細については、県教育委員会が公表する「電子出願の利用の手引き」及び中学校からの案内を確認してください。

②　中学校が出願内容を確認・承認する

中学校が、入力された志願情報を専用サイトで確認します。

その後、中学校が調査書等の出願書類をアップロードし、入力内容を承認します。入力内容に誤りがある場合や、中学校での確認が済んでいない場合は、その後の手続を進められないことがあります。

③　入学選考手数料を納付する

電子出願システムの案内に従って、入学選考手数料を電子収納により納付します。

志願情報の入力、中学校による確認・承認、入学選考手数料の納付の３点を行うことで、出願手続となります。

県立高等学校への志願者は、入学選考手数料（全日制の課程 2,200 円　定時制の課程 950 円）を電子出願システムの案内に従って、電子収納により納付する。

市立高等学校へ出願する場合、入学選考手数料及び納付方法は、以下の通りになります。

市	入学選考手数料	納付方法
さいたま市	全日制の課程　2,200 円	電子出願システムの案内に従って、電子収納により納付する。 ※　なお、さいたま市立高等学校への志願者は、入学選考手数料とは別に生じる電子収納に係る手数料について、志願者が負担する。
川口市	全日制の課程　2,200 円	
川越市	全日制の課程　2,200 円	

電子出願に向けて準備していただきたいこと

詳細な操作方法は後日お知らせしますが、ご家庭では、次の準備をお願いします。

・インターネットに接続できる端末の確認　・電子メールを受信できる環境の確認

・登録に使用するメールアドレスの確認　・ログイン ID やパスワードを保管する方法の確認

・受検票を印刷する方法の確認　・志望校、課程、学科等の確認　・入学選考手数料の支払方法の確認

自宅にインターネットへ接続できる端末がない場合や、受検票を印刷することが難しい場合は、早めに担任へご相談ください。

電子出願についての注意

電子出願の具体的な操作方法、登録の開始時期、入力内容の確認方法等については、県教育委員会が令和８年10月に公表予定の「電子出願の利用の手引き」を確認したうえで、後日、学校から改めてお知らせします。

この資料では、現時点で県教育委員会から公表されている基本的な流れを掲載しています。ご家庭の判断だけで登録や入力を進めず、学校からの案内をお待ちください。

令和９年度埼玉県公立高等学校入学者選抜

電子出願手続リーフレット

埼玉県教育委員会

県教育委員会では、11～12月頃、志願者・中学校向け運用テストを実施予定です。
詳細は、中学校等を通じてお知らせします。

01 準備

志願者	**入力端末（スマートフォン、パソコン、タブレット等）と メールアドレスを準備する**
中学校	システム登録Ⅰに用いる二次元コード（またはURL）を志願者に配布する

02 志願者情報登録（システム登録Ⅰ）

志願者	**電子出願システムで氏名や住所等を登録する 12桁の登録番号を受け取る**
中学校	専用の画面で志願者が登録した氏名や住所等を確認する

03 志願情報申請（システム登録Ⅱ）

志願者	電子出願システムで志願先高校・学科等を登録する
志願者	**入学選考手数料を納付する ※クレジット決済、コンビニ決済、ペイジーから選択**
中学校	**専用の画面で出願書類（調査書・自己評価資料等）をアップロードする 登録された内容を確認する**

04 志願先変更（希望者のみ）

志願者 中学校	**志願者が電子出願システムで新たな志願先を登録する 中学校が専用の画面で登録された内容と出願書類を確認する**

05 受検票の印刷

志願者	自宅のプリンタやコンビニのプリントサービス等で受検票を印刷する

06 学力検査等

志願者	志願先高校にて学力検査等を受検する（受検票等を持参する）

12桁の登録番号や受検票は、入学許可候補者発表やその後の手続きで必要になります。
大切に保管してください。

◎　自己評価資料

県公立高等学校を受検する全ての生徒は、自己評価資料を作成し、提出します。自己評価資料は、電子出願の際に提出する書類の一つです。

自己評価資料は、受検生がこれまでの自分の経験を振り返り、自分の考えや学んだことを整理するための資料です。また、面接の際の参考資料として使用されます。

主に振り返る内容

・中学校生活や学校外の活動を通して力を入れたこと　・活動の中で努力したことや工夫したこと
・経験を通して感じたことや学んだこと　・自分のよさや成長したこと
・高等学校入学後に取り組みたいこと　・将来取り組んでみたいこと　・自己 PR

特別に目立つ実績や、大きな成果だけを書くものではありません。授業、学校行事、委員会活動、係活動、部活動、地域活動、家庭での経験などを振り返り、取り組んだ過程や、そこから学んだことを自分の言葉でまとめることが大切です。自己評価資料の具体的な作成方法や提出方法については、学校で指導します。生徒本人が自分の経験を振り返り、自分の言葉で表現できるよう、ご家庭でもこれまでの中学校生活について話し合ってください。

◎　志願先変更

出願後、志願先を変更する場合は、定められた志願先変更期間内に手続を行います。

令和９年度の志願先変更期間は、次のとおりです。

令和９年２月 17 日（水）、18 日（木）

志願先変更は、短い期間内に手続を行う必要があります。変更を検討する場合は、本人と保護者で十分に話し合い、必ず事前に担任へ相談してください。

志願先変更を行うかは、倍率だけで決めるのではなく、次の点を踏まえ、慎重に判断することが大切です。

・本人が希望する学校・学科等であるか　・学校や学科等の特色　・入学後に学びたい内容
・通学方法と通学時間　・選抜内容　・面接や特色検査の内容　・私立高等学校の入学手続期限

具体的な手続方法については、電子出願の利用の手引き及び学校からの案内を確認してください。

定員に満たない場合（欠員補充）

欠員補充は、令和９年３月 16 日（火）から実施されます。実施校、募集人員、出願期間、検査日等については、県教育委員会及び各高等学校から公表されます。欠員補充への出願を検討する場合は、必ず担任へ相談してください。

令和９年　　月　　日

さいたま市立城北中学校
校長　齊藤　耕太郎　様

３年＿＿組＿＿＿番　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

県公立高等学校　出願確認・調査書等作成依頼書

私は、下記の県公立高等学校へ出願する予定ですので、出願内容の確認及び調査書等の出願書類の作成をお願いします。

1　志願先

学校名	高等学校
課程	全日制　・　定時制　・　通信制
学科名	
コース等	

2　選抜及び検査の確認

選抜の種類	□　一般募集　□　帰国生徒特別選抜　□　外国人特別選抜 □　不登校の生徒などを対象とした特別な選抜
試験日	学力検査：令和９年２月25日（木）　面接：令和９年２月26日（金）
特色検査	□　なし □　あり 実施日　□　２月26日（金）　□　３月１日（月） 内容　□　実技検査　□　作文　□　小論文 □　その他（　　）
入学許可候補者発表日	令和９年３月５日（金）

3　自己評価資料

□　学校へ提出済み

4　志願先の確認

本人と保護者で、学校名、課程、学科・コース、選抜の種類、面接及び特色検査の内容を確認しました。

□　確認しました

【校内提出期限】

原則として、第４回三者面談時に提出してください。

第４回三者面談を実施しないご家庭は、令和９年１月29日（金）までに担任へ提出してください。

※志願先変更期間　２月１７日(水) 午前９時から２月１８日(木) 午後４時まで

Ⅲ　具体的に進路を決める手順（就職）

中学校卒業後の就職を希望する場合は、学校とハローワークが連携して手続を進めます。就職先の検討、職場見学、応募書類の作成等に時間を要するため、希望する場合は早めに担任へ相談してください。また、就職と併せて定時制・通信制高等学校等への進学を検討している場合なども、早めにご相談ください。

○　就職を決めるまでの一般的な流れ

方針を決める　＜就職の人は早めに相談してください。＞

・以下に該当する人はこのページに関係します。

①就職希望。親戚、知人等の縁故関係に就職のあてがある。

②就職希望。あては特に無いので、職業安定所（ハローワーク）を通して探す。

③高等技術専門校（旧職業訓練所）に通いたい。

④就職を考えているが、定時制か通信制の高校にも行きたい。

※①の人は中学校に関係なく、保護者と本人で進めることができます。ただし、卒業時様々な手続がありますので、事業所名、所在地、電話番号等を必ず報告してください。

※②④の人は下の流れになります。高校受験手続と両方読んでおいてください。

※③の人は以下の流れと違いますが、必ず担任の先生に相談してください。

職業適性検査（１１月中旬ぐらいまでに受けてください。）

・①の人もできるだけ受けてください。

・検査は中学校で受けられます。担任の先生に日程を聞いてください。

・検査結果のデータを職業安定所に提出しないと、次の就業相談ができませんので、できるだけ早い時期に受けてください。

求人票から探す　１１月～

・希望の職種を良く考えておきましょう。また、事業所の条件や、自分の希望などを家庭でよく把握しておきましょう。求人票は中学校にきますので相談してください。

就業相談　１１月～

・写真が必要になります。

・職業適性検査の結果を持って、職業安定所（ハローワーク）で行います。

・担任、保護者、本人、ハローワーク職員の四者面談となります。

職場見学　１１月～

・事前に連絡を入れ、できるだけ多く見に行きましょう。複数の事業所を見ておくことを勧めます。

応募　１月～

・応募は中学校からハローワークを通して行います。

・応募後、事業所から選考日時・場所等の連絡がハローワークを通して中学校にきます。

入社試験・採用選考　１月～

・面接試験や見学の時に実習をさせて能力を見たり、作文や筆記試験を行う事業所もあります。

合否の通知　１月～

・合否の結果は事業所からハローワークに報告後、中学校に連絡がきます。

・担任の先生から合否を聞きましょう。

入社決定　**事業所との打合せや、ハローワークのオリエンテーションを受ける場合も。**事前の研修や準備、入社式や初出勤の日程など、しっかり聞いておきましょう。

職場研修　３月～　　**配属部署の説明を受け、これからの仕事内容の研修をします。**

正式入社　４月～　　正式社員となります。

奨学金等について

奨学金や入学準備金等には、給付型と貸与型があり、対象、金額、返還の要否、申込期限等が制度ごとに異なります。

令和８年１０月現在、学校に案内が届いている主な制度は次のとおりです。希望する場合は、募集要項を確認し、早めに担任へご相談ください。

※募集年度や申込期限、対象要件等は変更される場合があります。最新の情報は各制度の募集要項で確認してください。

1　さいたま市　教育委員会　学事課
- 「入学準備金貸付け」

2　公益財団法人　古岡奨学会
- 「古岡奨学会奨学金給与の規程」

3　公益財団法人　日本教育公務員弘済会埼玉支部
- 「中学生の進学支援事業」

4　あしなが育英会　奨学課
- 「あしなが高校奨学金」

5　埼玉県就学支援制度　高等学校等就学支援金制度など

6　社会福祉法人　埼玉県社会福祉協議会
- 「教育支援資金貸付」

別紙

◎ 今後の進路関係の日程

令和8年度　第3学年　進路指導年間計画（保護者配布用）

さいたま市立城北中学校

	主な行事予定	テスト・受検（験）手続き関係	保護者会・面談	生徒の活動 進路関係	生徒の活動 学習関係	保護者の活動
4月	8 始業式・入学式 24 離任式	20 全国学力状況調査		将来の自分の姿を思い浮かべ、中学校卒業後の自分の進路について考えてみよう!! ・「進路」についての関心を持ち、将来の自分を思い浮かべてみよう。 ・自分の進路が決定するまでの細かな流れを確認しよう。 ・学習内容、進学状況、通学距離・方法、部活動など、自分にとってどのような点を重視して高等学校を選択するかを保護者と相談しながら考えよう。 ・高等学校案内などを用いて、自分の興味のある高等学校を選択し、資料などを取り寄せたり、情報を集めよう。 ・面接や受検（験）時に備え、常日頃から、話し方や振る舞い方を身に付けよう。	家庭学習の習慣確立 ・授業を大事にし、家庭学習を習慣化しよう。 ・1、2年の範囲の復習に取り組もう。 ・わからなければわかるところまで戻って取り組もう。 ・定期テストは出題範囲を早めから確かめ、充分学習しよう。 ・定期テストの結果から、自分の弱点を見つけ、進路の目標・夏休みの学習に役立てよう。	・この1年の目標、また、進路について、お子様と話し合う機会をもつ。 ・学習に集中できる環境づくりをする。 ・進路選択をする際に重視する基準をお子様と話し合う機会をもつ。 ・お子様とともに上級学校・受検（験）情報について理解を深める。
5月	21 体育祭		22 保護者会（修学旅行事前説明会）			
6月	5/30～6/5 学校総合体育大会 9 生徒総会	18・19 期末テスト				
7月	6/29～7/1 修学旅行 17 終業式	第1回進路希望調査 実施	3 第1回進路保護者会 21～ 第1回三者面談	実際に高校説明会や高校見学へ足を運び、自分の目や耳で、高校の雰囲気などを確かめてみよう!!	・1学期の学習を振り返って、自らの学習に対する姿勢・取り組みなどを自己分析してみよう。 自己分析・弱点の克服	・夏休み中の生活のリズムを考え、お子様が計画的に生活や学習ができるようにする。 ・高等学校説明会にお子様とともに参加し、正しい情報を集める。 ・お子様とともに私立高等学校の個別相談へ参加する計画を立て、参加する。
8月	26 始業式	（夏休み明け課題テスト）	・調査書記載事項の確認（成績・出欠・表彰・資格等） ・学校説明会参加計画の確認 ・志望校の確認　など	・進路保護者会に参加し、進路選択の考え方・流れ・選び方・高等学校の種類・入試制度などを確認しよう。 ・進路希望を確認しよう。高等学校の説明会や体験入学の予定を、自分で確認しよう。 ・興味・関心をもった高等学校の説明会や体験入学に参加し自分の希望に合うかを確認しよう。 ・夏休み中に参加した説明会や体験入学に実際、参加したことで、感じることができたこと・実際に足を運んだことでわかったことなどを報告書にまとめ、自分の進路希望を具体的に考えてみよう。	・まとまった学習の時間が取れるのは夏休みだけです。1・2年生の復習はこの期間に終わらせることができるようにしましょう。 ・特に苦手教科は重点的に復習を行い、苦手意識を少しでもなくせるように努力しよう。	
9月	10 プラネタリウム教室 21 合唱コンクール	24 第1回市学力テスト			基礎の確認・見直し ・基本的な問題をもう一度解き直しを行うことで、重要事項の再確認をしよう。	
10月	20 市駅伝競走大会 29 つぼみの日 30 合唱コンクール	9 中間テスト 第2回進路希望調査 実施	中旬～下旬 第2回進路保護者会	個別相談会などの機会を通じ、どの公立・私立高校を受験するかなどを各家庭で相談し、志望校を決定しよう!! ・受験を考えている私立高等学校に、保護者同伴で行き、1学期の評定や北辰テストの結果などから、受験すべきかどうか、どのように受験すべきかを相談してこよう。	結果確認・学習内容の見直し ・実力テスト、北辰テストの結果、三者面談での保護者・先生のアドバイス等を参考にし、学習内容の見直しをしよう。 ・これまでの学習の成果を知ろう。この時点での弱点を見つけ、弱点克服を目指そう。	・お子様とともにそれぞれの進路決定までの流れを確認する。 ・個別相談をもとに希望する進路を絞りこむためにお子様と話し合う機会をもつ。

	主な行事予定	テスト・受検（験）手続き関係	保護者会・面談	生徒の活動 進路関係	生徒の活動 学習関係	保護者の活動
11月		4 第2回市学力テスト 19・20 期末テスト 中旬 私立高等学校調査書交付願 配布 中旬 私立高等学校調査書作成願 配布 ⇒第3回三者面談時に提出	9～13 第2回三者面談 ・受験（検）校（私立・公立）の検討 ・相談会等の内容確認 ・資格等の確認　など	・受検（験）方法を決めよう。私立高等学校、公立高等学校、それぞれの志望校を考え、自分が入試当日に受検（験）する学校を決定しよう。 ・私立高等学校受験校を決定する。成績等を確認し、公立受検校をしぼり始める。 入試当日に向けて、高校を受験するための準備を完璧に済ませておこう!! ・私立高等学校出願に備え、願書提出までの流れを確認し、提出書類を作成しよう。 ・私立高等学校に行き願書を購入する。きちんと自分の字で清書しよう。	基礎の定着＆応用力向上 ～冬休みは実力アップ 最後のチャンス～ ・実力テスト、北辰テストの結果、三者面談での保護者・先生のアドバイス等を参考にし、学習内容の見直しをしよう。 ・冬休み中は、私立高等学校受検（験）に向け、過去問題に取り組み、出題傾向を知り、対策を練ろう。	・三者面談の内容を参考に希望する学校をしぼるため、お子様と話し合う機会をもつ。 ・お子様とよく相談の上、進路希望先を決定させる。 ・出願書類や手続きを確認し、間違いのないようにする。 ・受検（験）に向けた生活環境をつくる。
12月	24 終業式	24・25 通知書配布 私立高等学校出願準備	7～11 第3回三者面談 ・受験（検）校の決定（私立・公立） ・受験方法、出願方法等の確認　など			
1月	7 始業式	調査書配布 私立高等学校出願 8 第3回市学力テスト 第3回進路希望調査 実施 22～24 私立高等学校入試中心日 下旬 県公立高等学校出願準備	1/27～1/29 第4回三者面談（希望者のみ）	・出願方法を自分で確認し、願書締め切り日までに確実に願書を提出しよう。 ・当日までに、最高の準備を行い、当日の入試に臨もう。 ・三者面談等で、保護者・担任等と相談をし、自分が受検する公立高等学校を決定しよう。	それぞれの志望校へ向け ラストスパート!! ～後悔のないように全力で取り組もう～	・出願書類や手続きを確認し、間違いのないようにする。 ・試験前は落ち着いて生活できるようにする。
2月		私立高等学校入学許可候補者発表 4・5 学年末テスト 1/26～2/9 県公立高等学校出願期間 12 県公立高等学校出願（配達指定日） 17・18 県公立高等学校志願先変更 25 県公立高等学校入試（学力検査） 26 県公立高等学校入試（面接・特色検査）	・受検校の決定（公立） ・進路先の検討（私立の合否による）　など	・公立高等学校の願書の作成方法や願書提出方法などを確認し、自分で願書を清書しよう。 ・指定された日に、自分で公立高等学校に行き、出願しよう。 ・当日までに、最高の準備を行い、当日の入試に臨もう。	・私立・公立高等学校受検（験）に向けて、実際に時間を計り、入試本番を意識したペース配分をつかもう。 ・今まで勉強してきた教科書や問題集を再度やり直し、今まで自分が覚えてきたことを確実に定着させよう。 ・最高の状態で入試本番を迎えることができるように、体調管理の徹底をしよう。 自分のことを支えてくれた、すべての人に感謝の気持ちを持って、入試に全力で取り組もう!!	・私立高入試の結果に応じて手続きを済ませる。 ・出願書類や手続きを確認し、間違いのないようにする。
3月	15 卒業証書授与式	1 県公立高等学校入試（実技・特色検査） 2 県公立高等学校追検査 5 県公立高等学校入学許可候補者発表 16 県公立高等学校欠員補充		・発表は自分で見に行き、手続きを確認しよう。入試手続きで、間違いのないように、必ず書類をよく読み、手続きを速やかに行いましょう。 ・結果によっては、公立高等学校欠員補充の手続き等があるので確認しよう。	次のステージへ進むための準備をしっかりと行いましょう!!	・入学手続きについて、家族で書類をよく読み、間違いのないように、手続きを進める。 ・卒業後、希望をもって新しい生活が送れるようにする。

提出用　令和８年度　第３学年　第２回進路希望調査

３年　　組　　番　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

◎提出締切日：１０月３０日（金）までに担任の先生へ提出してください。

1．就職希望の人が記入してください。

希望する職業名・職種	
就職を希望する地域	
定時制高校への進学	希望する　　希望しない　　←○で囲む

2．進学希望の人が記入してください。（それぞれ　○　をつける。）

① 学校の種類	ア 全日制　イ 単位制　ウ 定時制　エ 通信制　オ 専修学校　カ その他
② 設　置　者	ア 公立(県立･市立)　イ 私立　ウ 国立　エ 未定
③ 学　　科	ア 普通科　　イ 専門学科　　ウ 総合学科　　エ 未定

※①学校の種類で[カ その他]を選んだ人は具体的に書いてください。＿＿＿＿＿＿＿＿

※③学科で[イ 専門学科]を選んだ人は希望する学科名を書いてください。＿＿＿＿＿＿＿＿

3．現在の具体的な志望校の学校名・学科を書いてください。

志望順	学　校　名	学　科	希望する理由	説明会等参加状況
1	立			済・予・未
2	立			済・予・未
3	立			済・予・未
4	立			済・予・未

※）必ず、第１志望を記入してください。

4．上級学校の説明会・見学会・体験入学・個別相談（入試相談）等に、すでに参加や予定をしているものについて記入してください。

期日（曜）	学校名	予約済	参加済・予定	内容	参加者
月　日(　)		済	済・予	説明会・見学・体験	本人・本人と保護者・保護者
月　日(　)		済	済・予	説明会・見学・体験	本人・本人と保護者・保護者
月　日(　)		済	済・予	説明会・見学・体験	本人・本人と保護者・保護者
月　日(　)		済	済・予	説明会・見学・体験	本人・本人と保護者・保護者

5．進路関係で質問などがあれば書いてください。